

市議会だより

第**171**号
2015年9月4日

～6月定例議会～

会期：平成27年6月11日～平成27年6月30日



▲8月1日にオープンした新観光スポット「瀬長島ウミカジテラス」

目次

一般質問 (新垣 亜矢子 議員・与那覇 清雄 議員) … 2P	一般質問 (比嘉 綾 議員・赤嶺 吉信 議員) … 11P
一般質問 (山川 仁 議員・仲田 政美 議員) … 3P	一般質問 (當銘 清弘 議員・比嘉 仁一 議員) … 12P
一般質問 (新垣 繁人 議員・大田 正樹 議員) … 4P	一般質問 (赤嶺 一富 議員) … 13P
一般質問 (儀間 盛昭 議員・大城 敬理 議員) … 5P	平成27年 第3回豊見城市議会定例会(6月議会)審議事項 … 13・14P
一般質問 (徳元 次人 議員・宜保 安孝 議員) … 6P	平成27年 第3回豊見城市議会定例会(6月議会)審議結果 … 15・16P
一般質問 (比嘉 彰 議員・大田 善裕 議員) … 7P	編集後記 … 16P
一般質問 (瀬長 美佐雄 議員・赤嶺 勝正 議員) … 8P	
一般質問 (瀬長 宏 議員・佐事 安夫 議員) … 9P	
一般質問 (外間 剛 議員・楚南 留美 議員) … 10P	

*詳しい内容についてはホームページをご覧ください。



一般質問

豊崎の新しいアクセス道になる橋の利用について



新垣亜矢子 議員

問 豊崎の市道257号線から翁長に向け、橋が建設されている。進捗状況と完成時期について伺う。



開通が待ち望まれる翁長と豊崎を繋ぐ橋

答 道路課長 平成26年度は橋梁工事及び用地の確定及び建物の補償算定。平成27年度は橋梁の舗装工事及び用地補償、物件補償、交渉を進める。橋梁完成は、平成28年度に市道203号線の交差点工事を行い、平成29年度供用開始に向けて事業推進する。

問 この橋は豊後地域へのアクセス道路として早く完成を望んでいる。供用開始は2年後となり期間がある。先に歩道専用として利用する考えはないか伺う。

答 道路課長 現道と完成する橋梁の高低差が1.6メートルあり、歩行者の安全確保の問題があるので現時点では歩行者専用の暫定供用は考えていませんが、今後検討していきたい。

答 道路課長 平成26年度は橋梁工事及び用地の確定及び建物の補償算定。平成27年度は橋梁の舗装工事及び用地補償、物件補償、交渉を進める。橋梁完成は、平成28年度に市道203号線の交差点工事を行い、平成29年度供用開始に向けて事業推進する。

行者の安全確保の問題があるので現時点では歩行者専用の暫定供用は考えていませんが、今後検討していきたい。

問 豊見城市内からオリンピック・パラリンピックを目指し活躍する人材を発掘・育成することを目的に、那覇市で行われたスポーツパフォーマンス大会のような取り組み計画があるのか伺う。

答 生涯学習部長 那覇市のような取り組みは行っていない。今後は人材発掘を意識しながら各種教室の開

催や大会運営に取り組んでいきたい。

催や大会運営に取り組んでいきたい。

問 市内公園の禁止事項の立て看板に球技禁止がある。元氣よく外で遊んでほしくても難しいのが現状。球技が出来る公園を増やすため、ネットやフェンス等設置計画があるのか伺う。

答 都市施設課長 現在設置計画はありません。野球やサッカーは、通常のキャッチボールやパスなら十分できると認識しているが、競技という大会目的は禁止ということですが。

現在設置計画はありません。野球やサッカーは、通常のキャッチボールやパスなら十分できると認識しているが、競技という大会目的は禁止ということですが。

東部地区活性化策の長嶺城跡周辺整備について



与那覇清雄 議員

問 東部地区における長嶺城跡を中心とする公園整備に取り組む必要があると思うが当局の見解を伺います。

答 経済建設部長 関係部署や県主干課と調整を重ね長嶺城跡を含めた本市の東部地区公園整備計画については、文化財が多く存在することと急傾斜地ということから、十分な基本設計が必要であると考えております。歴史的文化的価値が高い長嶺城跡の保全活用を図りながら、都市基幹公園としての市民全般の休息、鑑賞、散歩、遊戯、運動等総合的な利用に供する公園整備を行います。

関係部署や県主干課と調整を重ね長嶺城跡を含めた本市の東部地区公園整備計画については、文化財が多く存在することと急傾斜地ということから、十分な基本設計が必要であると考えております。歴史的文化的価値が高い長嶺城跡の保全活用を図りながら、都市基幹公園としての市民全般の休息、鑑賞、散歩、遊戯、運動等総合的な利用に供する公園整備を行います。



歴史ある長嶺城跡を整備し有効利用実現！

が完成後は後継事業として東部地区公園整備に取り組みます。

答 経済建設部長 豊崎総合公園整備事業は平成27年度完了予定でありましたが、当初計画しておりました整備見直しが必要となったことから今年度での事業完了が厳しくなっております。事業期間を1年間延長して事業の完成を目指していきたくと考えており、平成28年度豊崎総合公園

答 経済建設部長 路線事業化は厳しい。当面歩行者や通行車両に安全対策を図ります。

問 市道118号線の整備及び安全対策について

問 豊崎総合公園の後継事業として長嶺城跡周辺整備に取り組んでほしいのですが伺います。

答 経済建設部長 平成26年度の現地踏査で老朽化等の確認が行われ、平成27年度に関係機関との調整が整い次第、設計業務に着手する予定との回答でした。市としても早急な対応が必要と認識していますので、早期対策工事が出るように努めます。

鉄軌道・LRT等導入で 地域公共交通の拡充を



山川 仁 議員

公共交通の不便さ解消に
向けた取り組みを

問 鉄軌道・LRT等
新たな公共交通と

の連携は必要不可欠で
あり、新庁舎を軸にユニ
バーサルデザインなまち
づくりを進めながら、県

への要望等が急務と思っ
て伺う。

答 都市計画部長

新庁舎が予定さ
れている中心市街地、豊
崎、豊見城団地等の重要
な拠点としての交通軸の
形成を検討する必要性と
鉄軌道の広域的な幹線軸
と市内の枝線との整合性
を図りながら進めるべき
と考えております。

市民に開かれた議会の環境
整備が急務である

問 市民が議
会傍聴でき

るシステムの構築
(ケーブルテレビ
やインターネット
等の放送や録画な
ど) 必要と思うが
伺う。

答 企画部長

議会や関
係部署との調整や
新庁舎検討委員会
での議論を踏ま
え、最終的には
市長で決定する



鹿児島市内を走る路面電車は、100年以上の歴史があり、路面も緑
化が施され、環境にも優しく多くの市民・県民に親しまれています

ことになっております。
自主防災組織率の向上と
災害時要援護者等への減
災対策の取り組みは遅れ
てはならない

問 第4期障がい福
祉計画の中で、災
害時の避難について「一
人で避難できますか」と
アンケートし400名を対象
に13名が回答し「できま
せん」、「わからない」は
計53.4%でした。また「災
害時に近所に助けしてくれ
る人がいますか」には、

「わからない」、「いない」
で計75.3%という回答でし
た。この結果を重く受け
止め名簿づくり等を早急
に取り組んで頂きたいと
思うが伺う。

答 福祉部長 避難行
動支援者個別計画
の策定が義務付けられて
います。防災担当、各課
と連携して早めに対応し
ていきたい。

◎その他の質問
・しまくとぅばの普及と
継承について。

クーラー設置で 快適な学習環境の整備を!



仲田政美 議員

問 「ゆたか小学校」
校舎最上階の教室
へ、クーラーの設置を求
める声が寄せられていま
す見解を伺う。

答 教育長 今度の学
校訪問で体感状況
なども参考にしながら、

問 豊崎小学校前、幅
員が広くスピード
を上げた車の往来が多く
ある。歩行者にとって大
変危険。信号機の設置を
求める声が寄せられていま
す見解を伺う。

答 協働のまち推進課長
横断歩道、スピー
ド標識等を道路管理者及

び警察において対応する。
伊良波中学校通学路の安
全対策を

問 市道255号線の伊
良波中学校への通
学路。(ア)当該道路は、
途中に坂があるうえに、
急に幅員が狭くカーブと
なっている。そのため、
見通しが悪く危険な状
態。カーブを改修し、直
進を望む声が寄せられて
います。見解を伺う。(イ)
事故の未然防止の観点か
ら、カーブミラーの設置
が必要であると考えます
が見解を伺う。

問 U字型ごみ袋について
取っ手付き(U字
型)ごみ袋の試験
販売が終了し、今後の対
応は。

答 生活環境課長
9月中には店頭
にて販売できるように取
り組んでいきたい。

◎その他の質問
・新庁舎建設にあたり先
進地への視察メンバーの
構成に女性職員を。
・県道7号線、豊見城団
地方面へ防犯灯を。
・市民体育館の駐車場の
周辺整備、入口の看板・
案内板等の設置を。

答 経済建設部長
(ア)カーブを



最上階の教室は暑さ対策を

改修し直進にす
る道路改良の計
画は現在のところ
ございません
が、安全対策と
して道路の有効
幅員を確保する
ため、当該箇所
の除草を行って
おります。(イ)
6月17日付で
カーブミラーの
仮設置を完了し
ております。

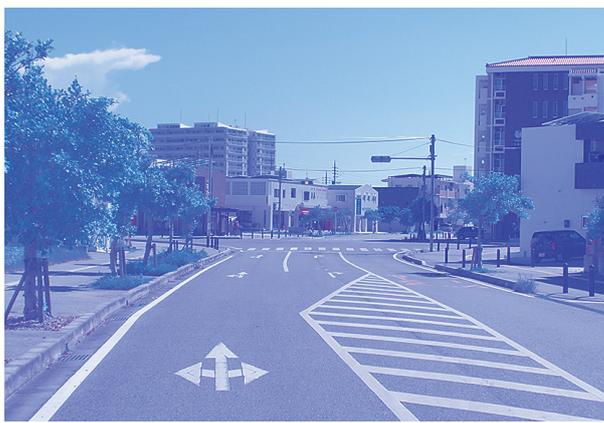
わくわく☆ドキドキ!! ひらめきキラメキ豊見城



新垣繁人 議員

道路に愛称名を

問 市内の観光施設や歴史・文化財また、地域の魅力向上とPRを目的に豊崎の市道257号線、286号線をモデル路線として道路愛称の募集を行って、通り名などの標識設置に取り組む考えはないか伺います。



道路に愛称名を付けて更に魅力UP (市道257号線)

答 道路課長 現在のところ計画はございませんが、平成22年度に瀬長島への市道6号線に「瀬長島海中道路」豊見城団地の市道27号線に「豊見城団地大通り」と愛称が付与されています。地域からの要望がある場合、要領に基づき取り組んでいく必要があると考えております。

問 要望書として申請書を受理した後の事務的流れ、その事務に要する期間について伺います。

答 道路課長 前回2路線を選定する際は市で2路線を選定しまして公募から決定まで約4カ月を要しております。

歴史・文化の発信と共に新たな感動体験から繋がる教育を

問 地域の歴史・文化にスポットを当て、地域の小中高生により演じられる「現代版組踊」を一括交付金などを活用し本市でも取り組む考えはないか伺います。

答 文化課長 文化課サイドとしては、当面は既存の伝統組踊の普及定着に努めていく段階であるかと考えており、今後の参考とさせていただきます。

いただきたいと考えております。

問 届けたい声と着地点が違っています。

答 文化課長 取り組みの手順あるいは手法の検討を含めて今後の検討課題と考えております。

インフラ整備の力加減で街の活性化が変わる!



大田正樹 議員

問 豊崎ビーチ北側護岸はハーリー会場として整備計画があるが具体的なスケジュールを伺う。

答 農林水産課長 ハーリー振興事業に伴う岩礁破碎は同意が必要となる。糸満漁協組合と根支部と調整を行っているが漁獲の減少が想定されるとして与根支部としては岩礁破碎に難色を示している。しかし、ハーリー振興事業の安全の確保の観点から、同意を得られるよう調整を行い、事業同意の完了後平成27年度中に調査設



ビーチ・漁港・ハーリー会場の早期浚渫が望まれている

計の実施、平成28年度以降沖縄県の承認を得て工事着手となる予定です。

問 課題であるビーチ干潮時の対策は

都市施設課長

答 干潮時対策としてビーチの浚渫を事業化する方向で検討していますが、調整を行って参りますのでもしばらくお待ちください。

問 MICE施設は本市の成長エンジンになるはずでした。誘致がかなわなかったが、課題はどうするのか伺う。

答 振興開発課長 観光振興や宿泊施設については公募。西

海岸道路は今年度中に4車線化と瀬長島入口の交差点改良が完成予定。国道331号線から上田交差点までは平成31年度完成予定。市道257号線から国道331号線までは平成31年度完成予定。市道286号線延伸は平成27年度～平成33年度北側を、平成34年度～平成38年度までに南側を整備予定。無地番地の土地利用と編入については、今後国と調整していきたいと考えております。

問 景観条例制定の進捗状況について

答 都市施設課長 平成27年度は景観計画及び景観ガイドラインを策定。条例の制定時期は平成28年3月議会に諮り半年周知を経て施行する予定。

◎その他の質問

- ・子育て環境について。
- ・NIEについて。
- ・豊崎ビーチについて。

市民を戦地に送らない



儀間盛昭 議員

問

安全保障法制関連11法案について

何う。名称は「平和安全法制」ですが、中身は「戦争法案」そのものです。自衛隊の役割拡大、海外派兵、米軍支援、地理的制限なし。豊見城市民でもある自衛隊員が殺し殺される状況をつくり出す事になる。市民を戦地に送らないとの立場で、市民を代表し戦争法案反対すべき。

答

市長 国の専権事項である国防に關

問

市長は憲法9条が現状に合わない見直すべきとの発言をされてきた。9条改憲後に政府が取る行為が今回の国会のありさまを見て、政府の作戦が見えたと思う。市長は憲法9条を今も変えるべきと考えるか何う。

答

市長 憲法関係の問題は国政の場で議論されるものと考え

問

災害対策について、地震津波等災害時の避難困難者対応計画策定は、地域で誰が誰

する事であり、国の責任でしっかり議論されると認識している。



危険なガードパイプ近くにありませんか？

答

総務課長 避難行動要支援者について

をどうするか、どの時間帯だったらどうするなど具体的プランとなっているのか。瀬長島に設置された山手に上る階段を見て字瀬長から我那覇までの背後地に津波避難階段つくれないかとの声がある。どう考えるか伺いたい。

る。県公表の津波浸水予測によると、田頭、瀬長はほとんど影響ない予測となった、当該地区の津波避難路の検討を要する。
◎その他の質問
・市道のガードパイプ腐食で危険。
・歩道上に子ども足が入らないようフタの改良を。
・小学校に非行対策専任配置を。
・学校近くの不発弾対策を。

生活環境の充実について



大城敬理 議員

問

安全な通学路について ゆたか小学校前の

の県道7号線分岐交差点を児童が安心して横断できるよう、歩車分離式信号機にできないか何う。

答

協働のまち推進課長 本市としては、

歩車分離式信号機への切りかえについては、設置基準を踏まえつつ子どもたちの安全確保に向け、学校やPTA、地域住民から要請がございましたら道路管理者、関係機関とも連携を図りながら要請していきたいと考えています。

問

市道29・34・126

129・130号線は抜け道として、また中央公民館の利用者など多くの市民が利用していますが、路面の亀裂や凸凹などが多く、非常に道路環境が悪いですが、道路補修計画はあるか何う。

答

経済建設部長 市道129・130号線

については、管理を行っている沖縄県へ問い合わせたところ、必要に応じて道路補修を行うとのこと、市としても沖縄県と連携を図り道路環境の向上に努める。市道34・126号線の一部区間の舗装面の悪い箇所については、平成27年度の維持修繕工事での改修を予定し



市道126・34号線(平良地内)の道路補修を

問

取っ手付きごみ袋の販売計画を伺

答

販売計画について

では、市中央にある店舗に協力を頂き試験販売を実施しておりました。今後は年度途中の導入となりますので市内大型店舗の協力を頂きつつ、全域の小売店まで普及できるように取り組みを実施していきたいと考えています。
◎その他の質問
・MICE施設について。

スポーツのまち豊見城！ 今こそチャンス！



徳元次人 議員

スポーツキャンプ地として取り組むべき

問 オリンピック・パラリンピックを見据えた本市のスポーツコンベンション推進に向け、専門的な協議会を立ち上げる必要がある。取り組む意志は。

答 生涯学習部長

強化合宿の誘致に取組んでいくが、専門的な協議会の立ち上げ

問

については関係部署や関係団体等と協議・調整を図っていく。

障がい者スポーツだけの市場規模は7千人。トッププレーヤーが合宿を行っている。その下には国体級の選手も控えている。トップアスリートの誘致を図れば、その下に続くのは明白。今、この準備会を設立しますという言質が必要。市長の意志は示されるか。

答

市長 早急に協議会を私も一緒に立ち上げていきたいと思います。まさにも時宜を得たということ、6月26日に記者会見をし、宣言をして取組みたいと思う。

問

砂ほこり改善へ
グラウン

学校のを

早々と推進協議会発足！本気モード!!



スポーツ合宿誘致へ 豊見城 五輪にらみ推進協議会

【豊見城】豊見城市で、スポーツ競技の強化を図るため、地域活性化を目的とする「スポーツ合宿誘致推進協議会」(会長・宜保保安、副会長・豊見城市長)が発足し、スポーツ振興や観光誘致に向けて、強化合宿の誘致推進を最優先課題として取り組むことになった。協議会発足式は、9月3日(木)午後2時から、豊見城市民体育館で開かれ、約30名が参加した。

ドを中心にはほこり等で迷惑をかけている。公園及び学校グラウンド粉塵対策は。

答

学校施設課長
沖縄県CC緑化

協会の改良クレー舗装の説明会に参加。一定の効果を確認。実績、使用効果、コスト面も含め検討したい。

問

協会側からテストケースとして材料を提供しても構わないということだが、試験的に実施する考えは。

答

都市施設課長
試験施工を字高安ゲートボール場整備において実施する。

問

パークゴルフ場整備に向けた視察は。

答

都市施設課長
県内は視察する。県外等は来年以降、事業化に向けた補助事業として採択したいと考えている。

問

◎その他の質問
大綱引きについて。
・スポーツ基地内交流について。

正確な報道を...



宜保安孝 議員

新聞報道について

問

MICE施設誘致がトーンダウンしたような報道がありました。記事の中身や経緯は事実であったか伺う。

答

企画部長 報道機関としての正確、公平性に欠き、事実とかけ離れた報道に対し、当該新聞社に対し、4月20日付で抗議をした。この記事の掲載される前日の電話取材で、撤退はない旨を明確に伝えたにも関わらず「豊見城市誘致撤退を検討」などと、事実と反する記事としていたこ

与那原・西原が有力 豊見城、誘致撤退を検討



問題となった新聞記事...

阻害要因とならないか。

答

企画部長
本市の懸案となつて、騒音の軽減に加え、県民のライフラインである空港の強靱化の必要性等を踏まえ、このような事態を招くことはないものと理解しているところであり、工期内の完成が県民の総意となっている。

問

保育士特別配置支援事業は、今年度事業導入できないと聞いているが。

答

児童家庭課参事
県の予算計上が決まったのが2月以降であったため間に合いませんでした。

問

県政の混乱は那覇空港増設事業にも影響か？

答

県議会では「県外の土砂搬入を制限する」という奇策を条例化する方針のようだ。「本市ひいては沖縄県発展の

問

◎その他の質問
・若年建設技能者育成事業について。

障がい者支援について



比嘉 彰 議員

本市の身体障がい者協会について

問 会員数について伺う。

答 障がい・長寿課長 平成27年3月末

現在、正会員40名、賛助会員7名、合計47名です。

問

身体障がい者協会と障がい・長寿課との関係について伺う。

答

障がい・長寿課長 本市は、障がい福祉を基本理念とし、

身体障がい者協会の自主的な活動を支援する関係にある。

問

現在、障がい者相談業務に従事している人材がいるか伺う。

答

障がい・長寿課長 相談支援専門員

がいる事業所は市が委託している所が2カ所あり、相談専門員4名、補助員6名、配置されている。

問

相談支援専門員の資格を満たす人材育成をしているか伺う。

答

障がい・長寿課長



聴覚障がい者と議員との懇談

支援専門員の育成につきましては、沖縄県緊急雇用創出事業を受けて、

平成25年度、平成26年度、市内の事業所で実施いたしました。

問

専任手話通訳者を置く予定はあるか伺う。

答

人事課長 聴覚に障がいを持つ方との意思疎通の円滑化を図るハートフルな接遇のためにも手話通訳者の設置については人材等の情報も関係課と共有しながら配置も含め、設置を検討

してまいりたいと考えています。

農道の交通安全対策

問

饒波地区農道1号線の交通安全について伺う。

答

農林水産課長 現場確認をしたところ、交差点の交通安全対策の必要性を認識している。現在、路面標示での交通安全対策について豊見城警察署と協議をしており、早期に安全対策が図られるよう努めていきたい。

市民窓口のサービス向上と改善は民間の力も必要



大田善裕 議員

窓口業務の民間委託について

問

県内で既に実施している自治体と開始時期について、伺います。

答

人事課長 うるま市が平成21年から、名護市が平成24年から、南城市と那覇市が平成25年から、宜野湾市が平成26年から既に実施されております。浦添市が今年度を予定しております。

問

本市が未だに導入をしていない理由、経緯を伺います。

答

人事課長 市職員での対応と民間委託による費用はどれぐらい価格が違うのか調べてみました。例えば主事級職員を想定して積算すると、主事級の平均年間人件費は約427万円。他の市が委託している委託費総額の平均額から1人当たり幾らかかるのか調べたら、主事級職員で対応するより、委託が約87万円、人件費の削減が可能という結果でした。しかし、本市ではもとより証明書の発行、そういう



市民窓口は市役所の『顔』です

業務は臨時職員にて対応しているのが現状であり、正規の職員と比較した場合、人件費は抑制されます。しかし、本市が行っている業務形態の場合は、大幅な増額になる。したがってその増額分が市民へのサービスをどの程度向上させる事が出来るかなども含めて、費用対効果を慎重に検討すべき事案かと思っております。

◎その他の質問

- ・那覇広域都市計画について。
- ・こども議会について。
- ・新庁舎建設について。

侵略戦争の誤りを認め台湾と経済交流・友好発展



瀬長美佐雄 議員

侵略戦争と認めるか

問 豊見城村民約9千人中3千600人、約4割の方々の命が奪われた。ポツダム宣言を受諾し、侵略戦争の誤りを認め戦後の日本が国際社会の一員になった。台湾などとの

経済交流・友好発展の土台でもある、先の大戦を「侵略戦争」と認めるか市長の見解を伺う。

答 市長 侵略戦争と認めるかという歴史認識に関しては、国民

世論もさまざまな意見があり、この場で断定的に申し上げることは控えない。

なぜ侵略戦争と言えない

問 学校で習い私はいまですが、市長はどのような教育を受けたのでしょうか。

建白書実現は沖縄県民の総意

答 市長 先ほどの答弁の繰り返し



提供

になります。歴史認識に関しては断定的に申し上げることは控えない。建白書実現の責務果たせ

問 市長も署名した建白書、その実現へ立場を堅持しているか。

答 市長 建白書については、世界一危険と言われている普天間飛行場の危険を取り除かなければならない事を念頭に、堅持する立場です。FMとよみ公開討論会

問 市長は候補者宛の質問状をなぜ市

職員を利用したのか伺う。

答 市長 具体的な数値や実績等を確認せずに、現職の市長が討論会で答えるわけにはいかないからです。

問 一括交付金利用の家賃補助制度で、市の負担金額の試算を伺う。

答 児童家庭課長 那覇市と同等の補助を実施すると仮案し、補助対象4クラブで、市負担額は33万8千円です。

豊見城市の保育行政について



赤嶺勝正 議員

問 平成27年4月1日

日より、子ども・子育て新制度がスタートしています。本市でも関係する認可園、公立保育園の方々が一生懸命子育

てに励んでいると思えます。また宜保晴毅市長も待機児童解消に職員と一丸となって取り組んでいますので、市民の皆さんが安心して子育てできるように願います。平成27年4月1日現在の待機児童数について伺う。

答 児童家庭課長 平成27年4月1日現在の待機児童数は41名で、昨年の4月1日での待機児童数は60名でしたので、19名の待機児童解消が図れました。

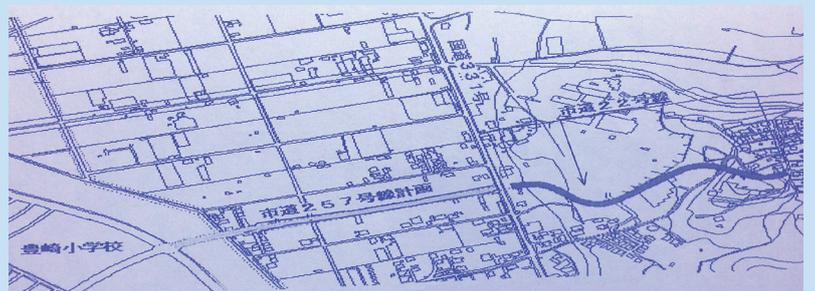
問 昨年度と比べて待機児童解消を図るためどのような施策を取り入れたのか伺います。

答 児童家庭課長 昨年4月1日以

降に定員ベースで認可保育新設で90名増、分園設置で29名の増、既存認可保育園5歳児受け入れで71名増、既存認可保育園の定員増で15名増、合計205名の定員増を行いました。また、今年度より小規模保育事業所を1カ所認可し19名の増、事業所内保育事業を2カ所認可して、地域枠で9名増、合わせて233名の定員増となります。さらに、認証保育園を1カ所増やし、昨年度より11名の受け入れ増が図れました。

問 認証保育園と認可保育園との違いについて伺います。

答 児童家庭課長 認可保育園は全



市道257号線&市道22号線

員が保育士資格保持者で、認証保育園では、保育士資格者が2分の1以上です。しかし、認定されてから5年以内に保育士資格者を3分の2以上の配置を義務づけています。◎その他の質問

・市道257号線進捗状況。

・市道22号線進捗状況。

国保の補助金8千万増を 国保税引き下げに使い!



瀬長 宏 議員

問 保険基盤安定繰入金の保険者支援が拡充されたが、前年度より幾ら増額と見ているのか。

答 国保年金課参事 本年度の額は1億3千934万円で8千647万円の増額と見込んでます。

問 対前年度比8千600万円余り増額になる

ということで、「国の支援策を拡充させて、その分を加入者の負担軽減につなげたい」と市長の公約には明確にうたわれております。負担軽減に結びつけるのが市長の公約からしても当然だと思えますが、その考えがあるのか。

答 市長 国保税の負担軽減は全額一般財源となりますので、どの事業、どのサービスの予算を削るのか対案を出すべきと考えております。

問 市長の答弁は私

が言っていることを全く理解してない。一般会計から繰り入れて負担軽減しろと言っています。公費で国から入ってくるお金を活用して、あなたの公約の

とおりがやたらどうかと言ったら、このような答弁しか準備していない。次に移ります。

つながらなかったことはありますが、幼稚園と連携しながらニーズに応えたい。

問 申し込みは、皆さんが計画していた人数よりも125名も少なかった。そして定数は98名、計画より増えた。それなのになぜ待機児童を残したんですか。

問 皆さんの計画のわずか半分しか弾力化は実施されていません。これは余りにひどすぎます。こういう実態を見て市長はどうなんでしょう。

答 福祉部長 新たな施策を実施する上では、待機児童解消には

答 市長 先ほど福祉部長が答弁したとおりですので、ご理解をお願いします。

戦争遺跡の保存・活用・文化財指定の事業化を



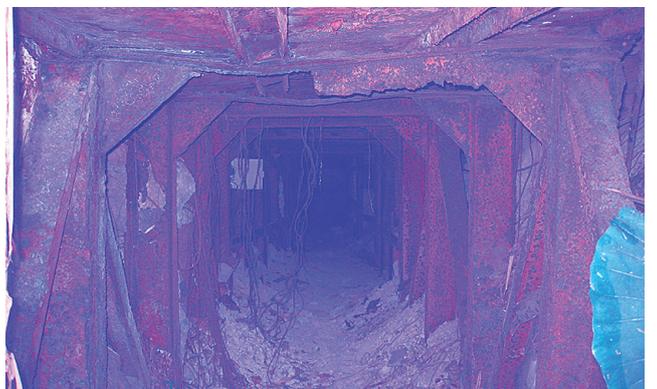
佐事安夫 議員

問 今年は戦後70年の節目の年です。

答 文化課長 県教育庁は本年度から戦争遺跡の文化財指定作業に着手する。現在基礎資料の段階で今後調査・検討が必要で指定という具体的な中身については未定。旧海軍司令部壕はほぼ当時の状況で保存・公開されている貴重な遺跡で、観光資源として多く

県は戦争遺跡の保存と文化財指定を目指して事業化を始めた。市内の箇所と場所は、旧海軍司令部壕跡の位置づけは、城趾公園内の野戦病院壕の保

存活用は。他の戦争遺跡は。文化課長 県教育庁は本年度から戦争遺跡の文化財指定作業に着手する。現在基礎資料の段階で今後調査・検討が必要で指定という具体的な中身については未定。旧海軍司令部壕はほぼ当時の状況で保存・公開されている貴重な遺跡で、観光資源として多く



早めに保存整備・活用が求められる野戦病院壕跡

答 文化課長 高安 籠

ゴウ祭は、文化課と自治会の意見交換を行い、保存会の設立等の動きなどもあつた中、指定は地域住民の総意を確認した上で対応したい旨の自治会の意向がありました。その後具体的な進展はありません。今後も自治会と情報交換を進めたい。保栄茂のマチ棒はこれまで地域との正式なやりとりを行ったことはない。地域に残る貴重な民俗文化財ですので地域の考え方も確認しながら慎重に対応を図りたい。

◎その他の質問

・歴史民俗資料展示室の活用状況。

・文化財標柱の設置基準。
・文化財説明盤の案内板。
・幼稚園臨時教諭の待遇改善。

問 高安 籠ゴウ祭、保栄茂のマチ棒の市

文化財指定の進捗状況は。

市指定文化財の増え

ているのは2ヶ所。

は。

道路環境の早期充実に…



外間 剛 議員

道路行政について

問

①三月議会で市道32号・33号線の答弁で狭隘道路で歩道もなく整備の必要性は認識しているが目処は立っていない。県道東風平豊見城ルートに重複する可能性が伝々とあったが、現段階で県道東風平豊見城のルート調整が県とできて

いるのか、また、事業時期、事業計画を確認しているのか伺う。②饒波川線、谷口線の本市事業と県道11号線拡幅事業の五工区とよばれる区間の市道31号線は高安地域の方々が生活道路として利用しているが、以前、自治会に対しての説明で生活道路としての機能を残しながら県及び警察と調整することだったが、32号線と交差する箇所も含め、本市事業と県事業で交わる箇所の調整はどこまで進んでいるか伺う。



道路拡幅が早期に望まれる県道11号線 (第五工区)

答

都市計画課長

①事業主体である沖縄県南部土木事務所を確認したところ、現在、既略設計で検討しているところ、今後、豊見城市と調整したいのとこのことでありました。事業スケジュールについても今後、検討したいとのこと。②現在事業中の谷口線並びに市道32号線の交差点については南部土木事務所及び沖縄県公安委員会との協議を完了しており、市道

32号線から交差点の方向への視認距離確保や右折車線の設置、供用開始前の事前調整など条件について回答をいただいております。今後、市においては早期供用開始に向け取り組んで行く。市道31号線との交差点は、今年度、同線の詳細設計業務を発注していることから両部の進捗を確認しながら南部土木事務所、公安委員会と交差点協議を行います。

安心・安全なまちづくり



楚南留美 議員

問

弱者支援にもつながり福祉にもかわる市民サービスだと思いますが、ごみ出し支援サービス、アシスト収集について、改めて市の

ごみ収集について

答

市民健康部長

見解を伺います。今の時点では困難と考えております。ただし、これからは高齢社会となり、ある程度高齢者でこういう方が増えてきた場合については当然、福祉と連携して、できる分についてはまた検討してまいりたいと考えております。



白線修復後 (字座安地内)

問

児童の交通安全を確保

国道331号線沿い座安地内にある信号機が設置されていない横断歩道の白線塗り直しの要望がございます。早急に修復が必要と考える見解を伺います。

答

協働のまち推進課長

横断歩道の白線修復計画について近日中に修復工事を行う予定です。安心して通行できる歩道を

問

豊崎地域の開発、高齢化、今後の人口増加を見据えた消防職員の増員や出張所の建設など段階的に整備が必要であると考えますが。

答

消防長 救急と消防に対するニーズ

が増加傾向のことから、消防体制の充実強化に努めていきたい。また、出張所につきましては、消防体制の市の財政状況を勘案し、今後の豊崎・西部地域の人口増等を見据えながら検討していきたい。

問

市道239号線(字豊見城地内)の歩道

にひびが入り、傾斜面が崩落しフェンスも歪んでいます。大変危険な状況

答

道路課長

詳細な調査を実施し対策の検討を行う必要があると考えられます。更なる消防力強化を

安全な街づくりを 目指し改善策を



比嘉 綾 議員

豊見城団地地域

問 豊見城団地平良
県営から北分譲交
差点までの歩道の除草と
ガードパイプの設置につ
いて。雑草が伸び、歩道
が歩けるような状態では
なく車道を歩いているの
をよく見かけます。早め
の除草を求めます。また通
学路でもあり崩落の危険
性も考えられることか

答 経済建設部長
歩道の除草と
ガードパイプの設置は、
沖縄県土木建設部で維持
管理を行っており、除草
は必要に応じて実施。現
場確認後、検討するとの
回答でした。

上田地域

問 上田のむつみ保
育園から市道25号
線への交差点のカーブミ
ラーに木の枝がかかって
安全確認がしづ
らくなっています。早
目に対応を求めます。上
田山川、豊見城郵便
局前の信号機は渋滞時
等、上田山川から県道
7号線に出る右左折が
非常にしづらくなつて
います。運転手な

どが、押しボタンを押し
て信号を変えないと右左
折ができない状態です。
信号機にセンサーをつけ
てほしいとの声が寄せら
れています。関係機関へ
の要請を求めます。

答 経済建設部長
25号線の現場踏
査をしたところカーブミ
ラーが見えづらい状況と
なっていましたので木の
伐採を行い、周辺の斜面
地も雑草が繁茂、除草を
完了しました。

協働のまち推進課 上田
山川地域から県道7号線
への交差点は、歩行者が
安全に横断するための押
しボタン式信号機です。
センサー付き信号機にし
た場合、朝夕の渋滞に拍
車をかけることが想定。
センサー設置は厳しい。
◎その他の質問
・男女混合名簿の導入。
・子ども医療費の自己負
担なしを。
・空家対策。



除草前の歩道

安全確認がしづ
らくなっています。早
目に対応を求めます。上
田山川、豊見城郵便
局前の信号機は渋滞時
等、上田山川から県道
7号線に出る右左折が
非常にしづらくなつて
います。運転手な

大きく展望が、進む 西海岸地区開発



赤嶺吉信 議員

地域産業の活性化

問 ①与根漁港複合
施設整備事業につ
いて、事業年度・事業費
及び事業期間について伺
う。②与根漁港路浚渫に
ついていつ実施するの
か伺う。③水産業の振興等

答 農林水産課長
①与根漁協複合
施設において、事業年度
は平成27年度から平成29
年度の3年計画を立てて
おり、概算総事業費で設
計委託業務及び工事費で
1億9千100万円となつて
おります。②与根漁港航

の一環として消波ブロッ
ク・軽量型漁礁の設置を
検討する考えはないか伺
う。
◎その他の質問
・墓地基本計画の進捗に
ついて伺う。
・宗教法人等による、墓
地建設について当局の見
解を伺う。



西海岸地区開発予定地

地区計画が予
定されており
ますが、市道
276号線部分と
市道10号線を
重複する部分
の整備計画に
ついて伺う。

答 道路課長
①本市
では道路事業
の整備計画の
見直しを行っ
ているところ
でございます。

道路行政について

問 ①歩道がなく大
変危険な道路と
なっております市道204号
線整備計画について伺
います。②豊見城カント
リーの跡地利用として、

路浚渫について、平成27
年度に調査設計業務を行
います。航路浚渫時期に
ついては、調査設計等の
成果また糸満漁業協同組
合与根支部との意見等も
鑑みつつ、早期に着手で
きるように努めたいと考
えております。③現時点
での設置計画はございま
せん。

◎その他の質問
墓地基本計画の進捗に
ついて伺う。
・宗教法人等による、墓
地建設について当局の見
解を伺う。

路浚渫については、平成27
年度に調査設計業務を行
います。航路浚渫時期に
ついては、調査設計等の
成果また糸満漁業協同組
合与根支部との意見等も
鑑みつつ、早期に着手で
きるように努めたいと考
えております。③現時点
での設置計画はございま
せん。

「豊見城」の呼称は「とみぐすく」と統一すべきと思う!



当銘清弘 議員

問 豊見城はいつの頃から「とみぐすく」ですか。

答 企画部長 14〜15世紀頃、南山王従兄弟汪応祖が漫湖を見下ろす丘陵に築城し「とむグスク」と呼び、歴史の中で変化し「とみぐすく」となった。また琉球王府時代間切の名称に豊



「とみぐすく」命名の地 豊見城城趾

の方から「とみ

答 企画部長 本市の名称が「とみぐすく市」となっているが、多く

問 統一するべきだが、いかなる施策が考えられるか条例化できないか。

答 企画部長 基本的に市の施設は「とみぐすく」、沖縄県等の施設は「とみしろ」と呼称されている。係る名称の統一は人名と同様に、それ相当の理由がない限り厳しい。

問 市内の公共施設の呼称を統一できないのか。

答 企画部長 基本的な見城間切があり薩摩入り後、1千611年(17世紀)琉球検地により豊見城間切地頭代(村長)が置かれ正式な行政区域の名称となっています。

しる市」と間違つて呼称されていることは残念。今後、正しい呼称が使われるよう何らかの施策を展開し、他の事例等も調査・検討したい。

問 今、子ども達に最も重要なものは情操教育では

答 今から300年前前、名護親方(中国名は程順則)により中国からもたらされた「六諭衍義」の教えを取り入れる考えはないか。

答 学校教育課参事 「六諭衍義」にお

就任前の市長の会社不法埋立について質問する



比嘉仁一 議員

問 就任前に会社代表であったか、伺いたい。

答 市長 二社の代表者であった。A社、平成13年3月30日就任。平成18年12月13日退任。

ける教えは、家庭や社会における道徳心を育むための助けとなる大変有効なものとして理解し、さらに人間の心のあり方を6つの視点で説いた教えはいつの時代でも通用するもの。児童・生徒の発達段階を踏まえ、奨励していきたい。

問 ◎その他の質問

- ・総合計画について。
- ・県道東風平豊見城線について。
- ・道路行政について。
- ・下水道について。

問 B社、平成16年9月7日就任。平成22年10月1日退任。

問 二つの会社の名称を伺いたい。

答 市長 答弁を差し控える。

問 会社の所在地を伺いたい。

答 市長 答弁を差し控える。



宜保市長経営時の会社構内不法埋め立て物

答 市長 裁判を起こしていませんし、起こされてもありません。

問 地権者が訴えているが、

伺いたい。

答 市長 訴えられてない。

問 現場掘り起しには市と県の担当者が立ち会っている。伺いたい。

答 市長 立ち会っている。

問 3月議会で不法投棄不法埋立は「事実無根であり、存在しない」と答弁しているが、以上の現実について、伺いたい。

答 市長 断定できる事実はない。

問 2社が行政処分されている。何故か伺いたい。

答 市長 行政処分されたことは遺憾にか伺いたい。

問 現場確認をした

答 市長 答弁を差し控える。

問 不法埋立の現場の写真は裁判では認めているが、伺いたい。

答 市長 答弁を差し控える。

問 元従業員の告発を知っているか伺いたい。

答 市長 答弁を差し控える。

問 建物解体の処分方法を伺いたい。

答 市長 答弁を差し控える。

問 主たる営業科目を伺いたい。

答 市長 答弁を差し控える。

問 会社の営業科目を伺いたい。

答 市長 答弁を差し控える。

公園・緑地の整備について



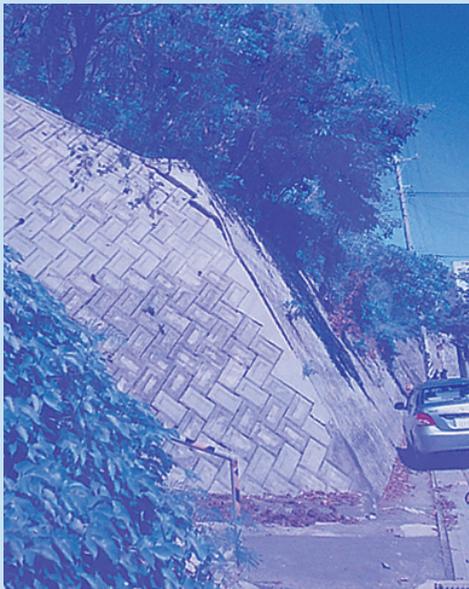
赤嶺一富 議員

問

長嶺城跡一帯を東部都市公園として整備し、安全で快適、緑豊かな都市公園整備事業の基本構想・基本計画をどのように事業推進しようとしているのか実施計画の概要について伺う。

答

経済建設部長 東部地区公園整備計画の事業化については、文化財が多く存在す



工事が始まる市道175号：豊見城ニュータウン地内

問

市道175号線、防災安全社会資本整備

答

災害に強いまちづくりに
 ことと急傾斜地ということから、十分な基本設計が必要であると考えております。都市基幹公園として市民全般の休息、散歩、遊戯、運動等、総合的な利用に寄与することを目的とした公園整備を行う予定です。また東部地区公園事業につきましては平成29年度から基本構想や基本計画、事業を開始していきたいと考えております。

答

経済建設部長

交付金事業（根差部地内）が延長210メートルの擁壁に複数の亀裂及び同部周辺から湧き水が確認されているが、早急に安全対策が必要と思うが、事業の進捗状況について伺う。（ア）平成27年度の事業内容、実施計画。（イ）平成28年度事業の内容、実施計画。

事業費につきましては、4千217万5千円で、工期については、7月から平成28年1月まで計画しております。（イ）平成28年度の事業内容は、のり面工事及び磁気探査を行い、事業費につきましては、2千700万円です。平成27年度の予算が減額となったため、1年事業期間を延伸して平成29年度の完了予定となっております。

平成27年 第3回豊見城市議会定例会（6月議会）審議事項

議案番号	案 件 等	内 容 等
1. 議案 計：8件		
議案第38号	平成27年度豊見城市一般会計補正予算（第1号）	歳入歳出予算の総額に歳入歳出それぞれ306,019千円を追加し、予算総額を23,847,019千円とする補正を行う提案となっています。
議案第39号	平成27年度豊見城市農業集落排水事業特別会計補正予算（第1号）	地方債の補正を行う提案となっています。
議案第40号	豊見城市附属機関の設置に関する条例の一部改正について	豊見城市まち・ひと・しごと創生に係る事項について調査及び審議するにあたり、「豊見城市まち・ひと・しごと創生審議会」を附属機関として設置するため、所用の改正を行うものです。
議案第41号	豊見城市国民健康保険税条例の一部改正について	平成27年3月31日に地方税法の一部を改正する法律（平成27年法律第2号）及び地方税法施行令の一部を改正する政令（平成27年政令第161号）が交付され、平成27年4月1日から施行されたことに伴い、所要の改正を行うものです。
議案第42号	豊見城市廃棄物の減量化の推進及び適正処理に関する条例の一部改正について	取っ手付きごみ袋を導入するにあたり、所要の改正を行うものです。
議案第43号	豊見城市地区計画等の案の作成手続に関する条例の全部改正について	住民等による主体的な住み良い地区まちづくりの取り組みを推進するため、所要の改正を行うものです。

議案第44号	市道の路線認定について	道路網の整備に伴い、道路法第8条第2項の規定により、議会の議決を求めるものです。
議案第45号	豊見城市住民が那覇市の公共下水道を使用することについて	豊見城市住民が那覇市の公共下水道を使用することについて、那覇市と協議するため、地方自治法第244条の3第3項の規定により、議会の議決を求めるものです。

2. 同意 計：2件		
同意案第3号	教育長の任命について	教育長の退任に伴い、新たに教育長を任命するため、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第4条第1項の規定により、議会の同意を求めるものです。
同意案第4号	監査委員の選任について	現監査委員の任期満了に伴い、新たに監査委員を選任するため、地方自治法第196条第1項の規定により、議会の同意を求めるものです。

3. 承認 計：4件		
承認第3号	専決処分の承認を求めることについて（平成26年度豊見城市一般会計補正予算（専決第2号））	平成26年度豊見城市一般会計補正予算（専決第2号）を、地方自治法第179条第1項の規定により専決処分したので、同条第3項の規定により議事に報告し、承認を求めるものです。
承認第4号	専決処分の承認を求めることについて（平成26年度豊見城市国民健康保険特別会計補正予算（専決第2号））	平成26年度豊見城市国民健康保険特別会計補正予算（専決第2号）を、地方自治法第179条第1項の規定により専決処分したので、同条第3項の規定により議事に報告し、承認を求めるものです。
承認第5号	専決処分の承認を求めることについて（平成27年度豊見城市国民健康保険特別会計補正予算（専決第1号））	平成27年度豊見城市国民健康保険特別会計補正予算（専決第1号）を、地方自治法第179条第1項の規定により専決処分したので、同条第3項の規定により議事に報告し、承認を求めるものです。
承認第6号	専決処分の承認を求めることについて（豊見城市税条例等の一部を改正する条例）	地方税法等の一部を改正する法律（平成27年法律第2号）、地方税法施行令等の一部を改正する政令（平成27年政令第161号）、地方税法施行規則の一部を改正する省令（平成27年総務省令第38号）の施行に伴い、豊見城市税条例等について所要の改正を行う必要が生じ、地方自治法第179条第1項の規定により専決処分したので、同条第3項の規定により議事に報告し、承認を求めるものです。

4. 報告 計：5件		
報告第5号	平成26年度豊見城市一般会計繰越明許費繰越計算書について	地方自治法第213条の規定により繰り越した繰越明許費について、同法施行令第146条第2項の規定により繰越計算書を調整し、議事に報告するものです。
報告第6号	平成26年度豊見城市下水道事業特別会計繰越明許費繰越計算書について	
報告第7号	豊見城市障がい者計画について	障害者基本法（昭和45年法律第84号）第11条第3項の規定に基づき、豊見城市障がい者計画を策定したので、同条第8項の規定により報告するものです。
報告第8号	平成27年度沖縄県町村土地開発公社事業計画書について	地方自治法第243条の3第2項の規定に基づき、沖縄県町村土地開発公社の平成27年度事業計画について報告するものです。
報告第9号	専決処分の報告について（道路の破損による人身事故に対する損害賠償の額の決定及び和解について）	専決処分の報告については、損害賠償の額の決定及び和解について、地方自治法第180条第1項の規定により専決処分したので、同条第2項の規定により議事に報告するものです。

平成27年度 第3回豊見城市議会定例会(6月議会)審議結果

議案番号	《 予 算 案 》 件 名	経 過	結 果
議案第38号	平成27年度豊見城市一般会計補正予算(第1号)	総務財政委員会付託	原案可決
議案第39号	平成27年度豊見城市農業集落排水事業特別会計補正予算(第1号)	即 決	原案可決

議案番号	《 条 例 案 》 件 名	経 過	結 果
議案第40号	豊見城市附属機関の設置に関する条例の一部改正について	即 決	原案可決
議案第41号	豊見城市国民健康保険税条例の一部改正について	教育民生委員会付託	原案可決
議案第42号	豊見城市廃棄物の減量化の推進及び適正処理に関する条例の一部改正について	教育民生委員会付託	原案可決
議案第43号	豊見城市地域計画等の案の作成手続に関する条例の全部改正について	経済建設委員会付託	継続審査

議案番号	《 そ の 他 議 案 》 件 名	経 過	結 果
議案第44号	市道の路線認定について	経済建設委員会付託	可 決
議案第45号	豊見城市住民が那覇市の公共下水道を使用することについて	即 決	原案可決
承認第3号	専決処分の承認を求めることについて	即 決	承 認
承認第4号	専決処分の承認を求めることについて	即 決	承 認
承認第5号	専決処分の承認を求めることについて	即 決	承 認
承認第6号	専決処分の承認を求めることについて	即 決	承 認
同意案第3号	教育長の任命について	即 決	同 意
同意案第2号	監査委員の選任について	即 決	同 意

議案番号	《 報 告 》 件 名	結 果
報告第5号	平成26年度豊見城市一般会計繰越明許費繰越計算書について	報 告
報告第6号	平成26年度豊見城市下水道事業特別会計繰越明許費繰越計算書について	報 告
報告第7号	豊見城市障がい者計画について	報 告
報告第8号	平成27年度沖縄県町村土地開発公社事業計画書について	報 告
報告第9号	専決処分の報告について	報 告

議案番号	《 請 願 ・ 陳 情 》 件 名	経 過	結 果
陳情第3号	「所得税法の寡婦控除規定の改正を求める意見書」採択に関する陳情	教育民生委員会付託	採 択
陳情第6号	沖縄県出身の特定失踪者の救出についての陳情	総務財政委員会付託	採 択
陳情第7号	子宮頸がんワクチン接種後の副反応被害の早期解決を求める要請	教育民生委員会付託	採 択
陳情第8号	慰安婦問題について豊見城市の適切な対応を求める陳情	教育民生委員会付託	継続審査
陳情第9号	「労働安全衛生委員会」を機能させ、学校労働環境の改善を求める陳情	教育民生委員会付託	採 択
陳情第10号	「義務教育費国庫負担堅持及び2分の1復元」のための意見書採択を求める陳情	教育民生委員会付託	採 択
陳情第11号	「30人以下学級早期完全実現」のための意見書採択を求める陳情	教育民生委員会付託	採 択
陳情第12号	所得税法第56条廃止の意見書提出を求める陳情書	総務財政委員会付託	継続審査

議案番号	《 意見書・決議 》 件 名	経 過	結 果
意見書案第3号	沖縄県出身の特定失踪者の真相究明と北朝鮮による日本人拉致問題の早期解決を求める意見書	即 決	原案可決
意見書案第4号	所得税法の寡婦控除規定の改正を求める意見書	即 決	原案可決
意見書案第5号	子宮頸がん予防ワクチン接種後の副反応被害の早期解決を求める意見書	即 決	原案可決
意見書案第6号	那覇空港増設滑走路の平成32年3月供用開始について確実な実現を求める意見書	即 決	原案可決
意見書案第7号	安全保障関連法案の慎重審議を求める意見書	即 決	否 決
意見書案第8号	安全保障関連法案の慎重審議と国民への丁寧な説明を求める意見書	即 決	原案可決
決議案第4号	議会改革調査特別委員会の委員定数を変更する決議	即 決	原案可決
決議案第5号	議会だより調査特別委員会の委員定数を変更する決議	即 決	原案可決
決議案第6号	閉会中の議員研修会等への議員派遣に関する決議	即 決	原案可決
決議案第7号	民主主義の根幹である表現の自由、報道の自由を否定する暴論に抗議し、発言の撤回と謝罪を求める決議	即 決	否 決

議案の討論内容等については、下記 URL の会議録検索システムにより閲覧可能です。

会議録検索システム：www.kaigiroku.net/kensaku/tomigusuku/tomigusuku.html

沖縄県出身の特定失踪者の真相究明と北朝鮮による日本人拉致問題の早期解決を求める意見書

北朝鮮による日本人拉致の発生から既に30年以上経過しているにもかかわらず、未だに帰国できない拉致被害者さらには拉致の可能性を排除できない特定失踪者の真相究明すらされていない状況であるが、昨年7月に安倍内閣は拉致被害者全員の救出に向けて日朝協議を再開した。これは拉致被害者救出の最後のチャンスと言える。

警察庁の発表によると、沖縄県においても北朝鮮による拉致の可能性が排除できない特定失踪者が32名存在しており、人口比としては、全国で2番目に多いことになる。また、豊見城市においても3名の特定失踪者がおり、家族の高齢化を考えると、一日も早く解決しなければならない。

よって、沖縄県の特定失踪者の真相究明と北朝鮮による日本人拉致問題の早期解決を求めるため、以下の項目を強く要望する。

記

1. 国においては、いかなる北朝鮮情勢の変動があっても、拉致被害者等の安全を確保する手段を講じるとともに、日本人拉致被害者の救出につとめ早期解決に取り組むこと。
2. 拉致の可能性が排除できない沖縄県出身の特定失踪者についても、国として責任を持って真相究明を行うこと。

以上、地方自治法第99条の規定により、意見書を提出する。

平成27年6月30日
沖縄県豊見城市議会

あて先 内閣総理大臣、内閣官房長官、拉致問題担当大臣、外務大臣、衆議院議長および参議院議長、国家公安委員会委員長、警察庁長官

豊見城市は戦争で当時の村民の4割が犠牲になった。だからこそ、二度と戦争を起こしてはならないと後世に伝えていく努力が必要だ。「建白書」の立場で新基地はつくらせないと県民が立ち上がっている。日米両政府に対して、復帰を勝ち取った当時の県民の思い、実績を教訓にしたいです。

佐事安夫

編集後記

第19期議員で構成された編集委員会での議会だよりは2回目の発行です。議会を取り上げた一般質問の内容が市民に分かりやすく伝えるのが役目です。また、一般質問だけでなく、議会の状況が分かるように伝える役目もあります。ベテランと中堅、新人で構成されている議会だより編集委員会。各会派から選ばれたメンバーであり、ます。すばらしい議会だよりが4年間発行されることを期待してください。さて、今年は戦後70年、マスコミ報道、政治の社会、一般社会とあらゆる所で節目の年とばかりに取り組みが行われています。戦争体験、原爆体験を語る方たちが高齢化して次世代に戦争の実態を伝える苦心をしています。